

科 目 名		学年	単位	授業時間	科目区分	授業形態	学修単位
倫理 : Ethics		2MES	2	90分×30回	履修	講義・通年	—
教 員 名	福永 孝章 : FUKUNAGA Yoshinori						
授 業 概 要	倫理は人間関係の正しいあり方に関する科目であり、自分の生き方や他者との関わりについて考えを深めるために、古今東西の宗教や思想を学ぶ。さらに、生徒が生きている現代社会の抱えている倫理的課題について学び、これからの社会の形成者としてふさわしい倫理的教養を身につけるように学習する。						
到達目標				評価方法			
(1)宗教や哲学、倫理思想について理解することができる。 (2)自分の生き方、他者との関わり方について考えることができる。 (3)現代社会の抱える倫理的課題について理解することができる。				①中間試験(40%)、②期末試験(40%)、自学自習レポート(20%)によって評価する。			
学習・教育目標		(F)		JABEE基準1(1)			
授 業 計 画	回	項 目		回	項 目	内 容	
	第1	導入授業	倫理とは何か・人間とは何か	第16	近代の思想	ルネサンス	
	第2	青年の課題	個性とアイデンティティの確立	第17	同上	科学的な考え方	
	第3	合理的な考え方	ソクラテス	第18	同上	社会契約説	
	第4	同上	プラトン	第19	同上	カント	
	第5	同上	アリストテレス	第20	同上	ヘーゲル	
	第6	中国の思想	孔子	第21	現代の思想	功利主義	
	第7	同上	孟子・老子	第22	同上	マルクス主義	
	第8	中間のまとめ	中間のまとめとして試験を実施する。	第23	中間のまとめ	中間のまとめとして試験を実施する。	
	第9	宗教	キリスト教	第24	現代の思想	キルケゴール	
	第10	同上	イスラム教	第25	同上	ニーチェ	
	第11	同上	仏教	第26	同上	サルトル	
	第12	日本の思想	日本の精神風土	第27	現代社会の倫理的課題	生命倫理	
	第13	同上	日本の仏教	第28	同上	環境倫理	
	第14	同上	国学と日本文化	第29	同上	国際化	
第15	まとめ	前期のまとめを行う。	第30	まとめ	全体の学習事項のまとめと授業評価アンケートを行う。		
自学自習の内容	レポートを課す。						
関連科目	現代社会・世界史						
教科書	平本幸二郎他『倫理』(東京書籍)						
参考書							
授業評価・理解度	最終回に授業評価アンケートを行う。						
副担当教員	山下祐志						
備考							